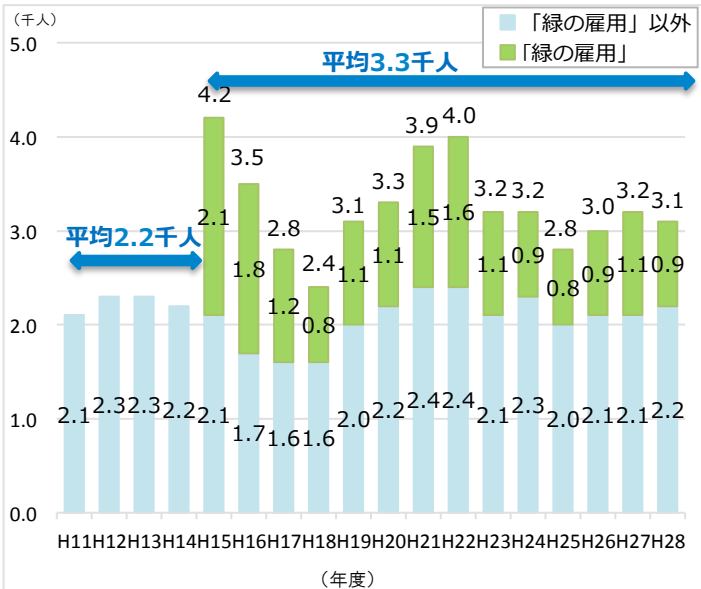


「緑の雇用」事業による効果について

- 新規就業者数は「緑の雇用」事業開始前は年間2,200人程度であったが、同事業開始後は平均で年間3,300人程度に増加し、若年者率の向上や平均年齢の若返りにも貢献。
- 本事業を実施しなかった場合、平成27年の林業従事者数は約9千人（林業従事者数の約2割に相当）少なかったと試算され、本事業は林業従事者数の維持に貢献。

○ 新規就業者数の推移



資料：林野庁業務資料

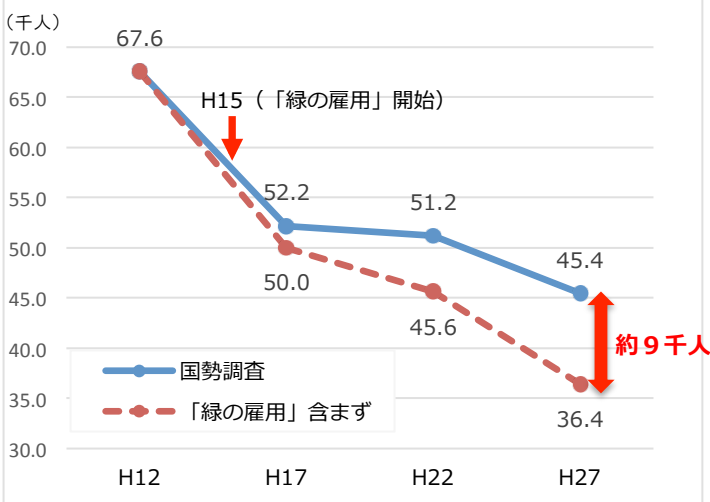
○ 林業従事者の平均年齢

	H17	H22	H27
「緑の雇用」	39.7	38.9	40.2
「緑の雇用」を除く	55.0	53.7	55.5
合計値	54.4	52.1	52.4

平均年齢の若返り

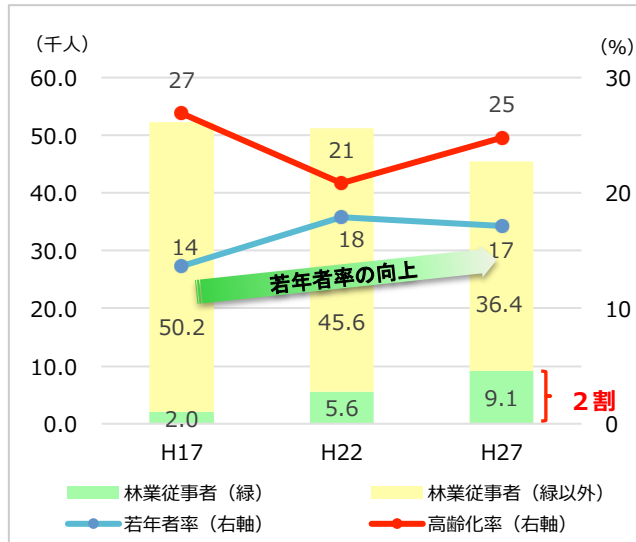
資料：総務省「国勢調査」、林野庁業務資料

○ 「緑の雇用」は林業従事者数の維持に貢献

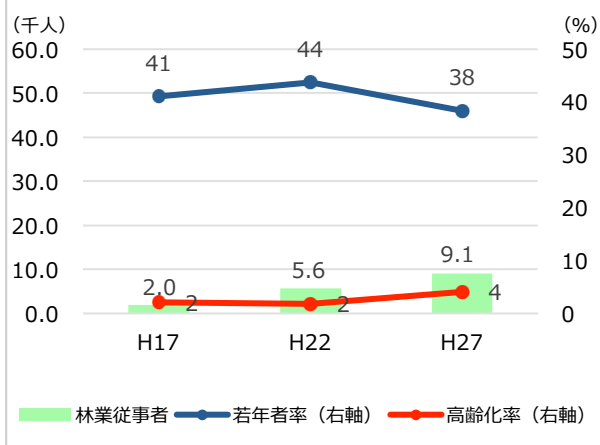


資料：総務省「国勢調査」、林野庁業務資料
注：「緑の雇用」含まずは、研修生の定着状況を基に試算

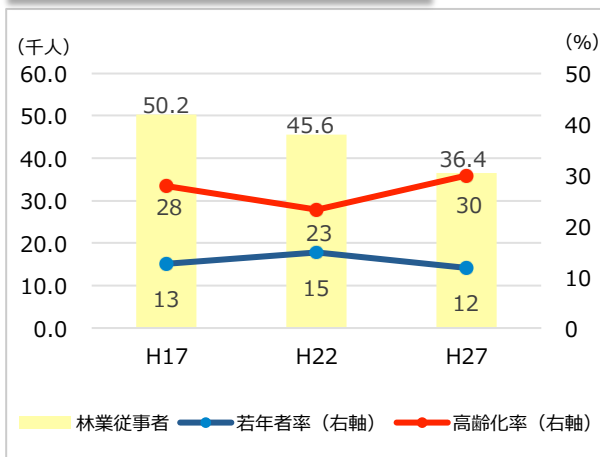
○ 林業従事者数等の推移



「緑の雇用」



「緑の雇用」を除く



資料：総務省「国勢調査」、林野庁業務資料
注：高齢化率とは、従事者数に占める65歳以上の者の割合
若年者率とは、従事者数に占める35歳未満の者の割合